

## 実行委員長ごあいさつ

震災4年目に始まったこのイベントも、今回で14回目を迎える。一緒に歩いて寄付するというこのアイデアは、神戸復興協会のサンプランシスNPO 代表の村土蔵で、通信のイベントではなく、市民活動支援を目指す意気込みが新鮮であった。全米約100都市で開催されるニースワークのなかでもサンプランシスは最大で、昨年では2万5千人が参加し、寄付総額は8億円に達したという。

第4回から有志参加型に切り替えたが、当初の志を次の世代に引き継ぐために、地元の方々の応援を得て3年前から市民への呼びかけを再開した。今回は、東北の仲間も加わっている。

このワークの経路は、神戸の伝統的な下町を巡っている。震災のため、古い市街地の面影は薄れつつあるが、住民の絆は崩れていない。まちの復興はひとの復興でなければならないという教訓を、是非、この機会に噛みかめていただきたい。

このイベントワーク 2012 実行委員会  
実行委員長 小森基茂

## しみん基金・KOBEごあいさつ

「このイベントワーク 2012」へご参加頂き誠にありがとうございます。

昨年の東日本大震災では、それに伴う震災事故と合わせて、今なお多くの人々が苦難の中に立たされています。また、それを支え合おうとするボランティア活動に寄付も活発になされ、人と人の「絆」の大切さが、より一層再認識させられた一年となりました。

阪神大震災の教訓から、このような市民の自発的な助け合いの活動を市民自らで支えていく仕組みとして、「しみん基金・KOBE」は誕生しました。以来12年間で延べ136団体に総額約4,800万円を助成し、これらによって、地域における支え合いの連鎖を生み出してきました。これからも、人と人、人と社会、人と自然の「絆」を創り繋いでいくことが、当基金の使命と考えています。

ここでの基金は、当基金へ寄付され、毎年実施している助成事業を通じて、様々な分野の草の根市民活動団体へ助成させて頂きます。今後とも、何卒ご支援・ご協力のことよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ  
理事長 黒田裕子(078-230-9774)

- ⑩せせらぎーまちづくり協会の協力を受けて整備を進めてきたもので、高取山の湧水を利用している。せせらぎの流れの歩道にはベンチを設置しており、市民が憩い憩いの場となっている。
- ⑪シューズプラザ⑪…震災から長田のケミシューズ産業の復興と靴のまちながの活性化を目指し、『シューズの元気は、神戸の元気だ!』をキャッチコピーに誕生。各種シューズ展や企画展を実施している。
- ⑫アジアギャラリー神戸⑫…アジア雑貨の店が集まる商業ビル。約8千人のアジア系外国人が住む長田で、アジアの共生をテーマにした中核施設として2000年7月にオープンした。
- ⑬水空道公園⑬…地域の防災公園(長田駅北地区震災復興土地地区管理事業)としての役割を持ち、『100%防火水情』が整備され、苦難の道のりを次代に伝えるために『震災復興の碑』が建立された。
- ⑭新長田駅北地区復興地区⑭…震災前は、商業・業務施設やケミカルシューズ(靴製造業に特化した)工場と混在する形で狭小住宅等が立地する住居工場の地域であったが、今回の地震で対する側の建物が大きな被害を受けた。震災後は、そうした分業体制も解体したが、今も靴造りの穴にとめる「ハトメ」の看板や、裁断、底をつくる練型練物の工場などが残っており、自動車の下請けなど多様な仕事を請けている。裏に行くくと右手にアシックス(青い建物)も見かける。

①の場所は、トイレが利用できます。



- ①大國公園①…震災による火災の延焼を防ぎ、地区の人々の避難所となった。倒壊した烏居の石を使った記念像。震災直後の樹の種子をスタンレス製のプレートに炭付けた「遺精のモニュメント」(「遺精の基準点」)がある。
- ②若狭東区復興地区②…震災前は、郡首街と駅前長巻からなる利便性の高い住宅地であったが、今回の地震ではほとんどの建物が被災すると大きな被害を受けた。
- ③カトリックたかとり教会③…多くのボランティアの拠点となった教会。震災で被災したが、2007年4月に再建された。「ルーバーゲームかとり」は台湾に移設された。NPO法人たかとりコミュニティセンターが多文化共生の拠点となり多くのNPOが活動している。
- ④野田北部まちづくり協議会④…1999年8月の「コミュニティ宣言」後、まちづくりの視座をハードからソフトへと移行し、地域をネットワークする組織「野田北ふるさとネット」を創設。「目に見える」活動と「目とつくり・仲間づくり・生活づくり」の思想でコミュニティでの(分かちあいの)まちづくりを目指している。
- ⑤若狭公園⑤…震災復興区画整理事業で整備された街区公園。住民の意見で道路を挟んで2つの公園が隣接する。道路を開通すると一体化して大きく使える。頻りに防災訓練が行われ、地域の防災拠点になっている。
- ⑥若松公園と鉄人28号⑥…次項の新長田駅南再開発事業として、防災拠点とするために若松公園が大きく整備されている。公園内には、横山光輝氏の代表作の一つである「鉄人28号」が、体長18mというビッグサイズの彫刻型モニュメントとして2009年9月に設置された。
- ⑦新長田駅南再開発地区⑦…震災により大きな被害を受けた市街地の復興と防災公園等を中心とした防災拠点の構築。地域の活性化や駅前にもふさわしい都市機能の整備を図るために実施された約8割が完成。未入居の商店が残っている。
- ⑧納履と復興のベンチ(神戸の壁)⑧…若松町の公設市場の防災備は、神戸大空襲と大震災の火災に耐え、歴史の証人として「神戸の壁」と呼ばれ震災の象徴となった。再開発事業で移転が決まり、地中の基礎部分が椅子の形にデザインされ、「アスタク(アスタク)」の地下通路に展示されている。
- ⑨大正訪商店街⑨…この街が全壊し壊滅的な被害を受けた。モダンな店舗街として再建され、大正訪商店街らしい人情あふれるイベント小が各種開催されている。大正時代の生活空間である土間と居間を再現した「大正ハイカラ散歩住夢亭」が開業されている。
- ⑩地域人材支援センター(旧二葉小学校)⑩…1929年に建設され、戦前・震災を乗り越えた地域のシンボルである二葉小学校が、NPO法人ふたばを指定管理者として、市民の地域活動への参加支援や地域活性化を担う人材育成の拠点として活用されている。

- ⑪新湊川⑪…震災後、多くのボランティアグループが川沿いの公園に拠点を置き活動した。その後、2度におわたって川が氾濫したが、2006年に新湊川トンネルが改築された。
- ⑫御前東・西区復興地区⑫…震災前は職人気風が残る市場・商店街や家内工業を中心とした中小規模の工場が立地する利便性の高い住宅地だったが地震で8~9割の建物が大きな被害を受けた。
- ⑬古民家を移築した集会所⑬…曹住町(祝香楽町)に建てられていた古民家を移築して作られた御前通5-6-1丁目自治会集会所。御前地区の住民たちの交流を促す場となっている。
- ⑭御蔵南公園⑭…震災時、火災のひろがりやを防止し、公園内に避難した人を火災から守ったクスノキがある。震災時は10mあったが、樹げた木の上部を切り取って8~8.5mとなっている。
- ⑮御蔵北公園⑮…地域の方で整備した公園で、この地域の120人が亡くなった焼死を示す地図が刻まれている「鉄塊」のモニュメントが設置され、焼け残った電信柱が保存されている。
- ⑯共同住宅「みくら5」⑯…12件が集まって建てた共同住宅。1階の地元企業の協力による「地域コミュニティスペース(プラザ)」を拠点に、まちコミュニティ(ハコ)はまちづくり活動を展開している。
- ⑰KOBE 三国志ガーデン⑰…阪神大震災後のまちおこしの一環として「三国志」をテーマとした展示施設の一つで、三国志情義をテーマとした「三国志ジオラマ館」「三国志体験館」「三国志交流館」「三国志施設」の4施設から構成された五感で楽しむ複合型のミュージアム。
- ⑱震災ミュージアム⑱…震災で発生した様々な助け合いの心をいつまでもとどめ、防災知識の普及啓発に努める場として、また震災の記憶・体験を伝える拠点として整備された。
- ⑲KOBE 鉄人三国志ギャラリー⑲…観光客に街を回遊してもらおうと2009年12月にオープン。鉄人28号の製作映像の上映や、三国志に登場する軍師・諸葛孔明の等身大オブジェを展示している。
- ⑳六間道商店街⑳…かつては神戸有数の繁華街だったが、周辺企業が集進し大震災もあって店舗が減少した。「六間道お百選マイル」の取り組みや、横山光輝氏(鉄人28号)の作者の遺書を発信する寄贈展示会場「六間道ごみせせん」、三国志をテーマにした新名所「魏楽市」がある。
- ㉑丸五市場⑳…80年以上の歴史を持つ、毎朝の仕入や加工・販売技術を持つ。こだわり専門店が多い。アジア系食品や物産を扱う店もあり、他の市場にない面白い買い物の場だと評されている。昔ながらの下町の人情と賑わいが残る市場。
- ㉒本町訪商店街⑲…震災で多くの店舗が倒壊したが、「ビッグハード」をシンボルとして、ふれあいセンターや長田こどもまつり、陶芸教室・絵付け教室などのイベントを多数実施している。修学旅行生対象の絵手紙教室も好評。
- ㉓神戸協同病院⑲…震災では断片的に夜中まで診療にあたり、震災後の復興には地域住民と一緒にまちづくりに参加してきた。地域から開かれる存在にならざることを理念として、地域住民とコミュニケーションをとり、病院という枠を超えて地域のまちづくりに力を入れている。